

瑞二だより

発行
江戸川区立
瑞江第二中学校
校長 滝澤 清豪
発行日1月12日
東京都江戸川区
瑞江4-54-1

始業式より 「大隈重信」

皆さん、おはようございます。そして本年もよろしくお願ひします。

令和6年が始まりましたが、皆さんも知っての通り、1月1日は能登半島地震が1月2日には羽田空港での航空機事故が続けて起こり、令和6年のスタートは暗いニュースでスタートとなっていました。

今年の冬休みは皆さんどのように過ごしましたか。きっと、この始業式が終わった後、クラスの中で友達同士でいろいろ話に花が咲くことでしょう。先月2学期の終業式の時に、私は皆さんに「瑞江二中は長期休業中にしかできないことを経験するために宿題が少ないんですよ」と言う話をしました。では、どんなことを経験しましたか？

今までの人生の中で一番勉強した冬休みとなった人も多かったのではないのでしょうか。

ところで、この冬休み中にスポーツ界でもいろいろなニュースがありましたね。その中で全国高校サッカー選手権大会、昨日決勝戦が国立競技場でありましたが、その大会の東京都A代表として

早稲田実業高校が出場しました。惜しくも1回戦で敗退してしまつたのですが、そのチームの中に本校を卒業した〇〇さんがいました。みんなの先輩になるわけですね。私もテレビを通して応援をしました。そして、少し大人っぽくなった彼がテレビに映り素晴らしいプレイをたくさん見せてくれました。惜しくも1回戦で敗れましたが、正々堂々としたプレイに感動を覚え、嬉しかったです。

彼の早稲田実業高校は早稲田大学の系属校です。

早稲田大学は政治家、教育者である大隈重信が創設者です。前回も私の話は明治の偉人の話をしましたが、たくさんいる幕末から明治にかけて活躍した偉人の中のひとりが大隈重信です。

今日の話の後半は、この大隈重信についての話をします。大隈重信は、1838年(天保4年)3月11日に肥前藩(佐賀藩)の上級武士の家に生まれました。将来の日本を憂い、脱藩も経験し欧米諸国に負けないためには語学を身に付けねばならないと英語を習得しました。その後、明治政府の要職につき、内閣総理大臣も2度経験しました。そして、その後、1882年(明治15年)東京専門学校(後の早稲田大学)を作ったわけです。1889年(明治22年)10月18日、大隈重信が乗った馬車に暴漢が爆弾を投げつけ、右足を切断する大事件が起りました。原因は、大隈

重信が外務大臣に就任した際、江戸時代に締結された不平等条約(日米和親条約や日米修好通商条約など)を改正しようと試みました。当時の日本は、この不平等条約のせいで輸入品にかかる関税の税率を自主的に決めることができず、外国人が日本で犯罪を犯しても、日本の法律で裁けないなど不利な状況が続いていました。この条約改正が大隈重信が襲撃されるきっかけとなつたと言われています。暴漢者はその場で自害し、大隈重信はその後、「犯人に対しては恨んでいない。いやしくも外務大臣である自分に襲撃をして世論を変えようとした勇氣は蛮勇であろうと感心する。若者は天下を丸呑みにしようとする元気がないとダメだ」と評価しています。とても、スケールの大きい人物ですね。

記念館を見学しました。その記念館内で大隈重信の生涯を描いた映像を見ました。その中で、こんなエピソードを紹介していました。

当時の東京専門学校の卒業式の際に、彼は卒業生に向かって「君たちは失敗する」と言う手厳しい言葉を投げかけました。それはこれから社会に出て行って、いろんな経験をやる中で、人は誰でも失敗をする。そしてそこから多くのことを学び、それが成長につながるんだ。失敗を恐れてはいけません。失敗があるからこそ成長があるんだ。そう卒業生に説いたと言われています。「失敗はわが師なり。失敗は我が大なる進歩の一部なり」という名言で表されています。

どうですか3年生の皆さん。2学期の進路説明会の時に、私が皆さんと保護者の方々に対して「第二志望の人生」と言う話をしましたね。もちろん受験ですから第一志望に合格することが望ましいと思います。しかし、全員が第一志望に合格するとは限りません。私の

ように学生時代、第二志望ばかりを歩んできた人間もいます。しかし私は不幸と思っていない。なぜなら、今、こういう立場になって皆さんの前で話ができる事はとても幸せなことです。第一志望、第二志望や第三志望とかではなくて、それぞれ自分が歩んでいく道の中で、自分がどのように光り輝くように努力をするか、それが一番大事なことでと思います。人生そんなに上手くいくことばかりではありません。

しかし、今は、皆さんが希望の学校に進学できるように願っています。皆さんが、自分がやるべき事を全てやって、後悔することなくチャレンジし、そして合格を掴むことを願っています。

以上で私の話を終わります。

教員研修(1月11日)
2年面接練習習

2年生を対象に、来年度の進路選択へ向けて面接練習を行いました。今回の取組は、外部講師をお招きして、しかも2年生を対象と

して実施する初めての試みです。また、私たち教員が講師から直接指導を受ける時間も設定しました。

講師は、プレゼンテーション指導でお世話になっている財団法人アルバ・エデュの竹内明日香代表にご指導いただきました。今までの面接指導では所作に重きを置いていました。勿論、良く出来たことに越したことはないのですが、生徒が形に拘り過ぎてしまう場合があり、面接の本質を疎かにしてしまいがちだからです。所作よりもっと大事なことがあります。それは「どのように自分をアピールするか」ということです。プレゼンテーションと大きく関わりがあります。生徒も普段のプレゼンと同様に学ぶことができ、教員も面接練習での着眼点がよく分かりました。

体育館での面接指導の様子

2年生を対象に、来年度の進路選択へ向けて面接練習を行いました。今回の取組は、外部講師をお招きして、しかも2年生を対象と



体育館での面接指導の様子